

新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表 “フェアリー ジャパン POLA” 新アイライナーで世界を誘惑

テンペティション ビューティー 2017年 新メイク 『Temptation Beauty (誘惑メイク)』 発表

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：横手喜一）は、新体操日本代表「フェアリー ジャパン POLA」の第35回世界新体操選手権大会（2017年8月29日～9月3日、イタリア・ペサロ）に向けて、新メイク『Temptation Beauty』を開発いたしました。

今回のメイクは、トレードマークのフェアリーラインを変更。昨年までの妖精の羽のようなラインから団体・個人共に目尻をキュッとほね上げた“フェアリー キャットライン”へと進化させました。1本の太いラインで目もとの印象を強めます。「強い気持ちで、舞台に立ってほしい」という美容コーチの思いを込めています。

団体は黒1色だけではなく「フェアリー ジャパン POLA」の新鮮さとチームの調和を、開催国イタリアを思わせる深いモスグリーンの新カラーアイラインで表現し、世界を誘惑します。黒のアイラインと併せて使うことで、黒一色のアイライン以上のまなざしの強さと女性らしいしなやかさがアップしました。今までにないメイクパターンで選手たちの新たな魅力を引き出します。

新体操の激しい動きや汗にも「崩れない」「15メートル先にいる審判員の目に最も美しく見えるメイク」を意識し、選手たちが「自信」をもち、勝利につながる演技をするためのメイクに仕上げました。



【団体】 杉本 早裕吏選手



【個人】 皆川 夏穂 選手



【個人】 早川 さくら 選手



【個人】 喜田 純鈴 選手

新メイク「Temptation Beauty (誘惑メイク)」のポイント

① トレードマークのフェアリーラインをシャープなキャットラインへ変更（個人・団体共通）

「フェアリー ジャパン POLA」のメイクのトレードマークでもある妖精の羽のようなフェアリーラインをシャープなイメージのキャットラインへチェンジ。目尻を少し跳ね上げた太いアイラインにすることで目もとを大きく、強調しています。汗にも強いタイプのアイラインで1本のラインを描くことで、チームの結束力と選手達の勝利への強い思いを表現しました。

② 新採用の緑のカラーラインで誘惑的な目元に（団体）

黒一色で目もとを仕上げるよりも女性らしいしなやかさと深い眼差し、今回のメイクのテーマである「誘惑」を表現。今回初めて取り入れたカラーラインは何度も色味を調整し、深いモスグリーンを採用しています。

③ 目元・アイホール全体をまたぐダブルアイラインで目の大きさを2倍に（団体）

2014年から取り入れている、ダブルアイライン。目もとのアイラインに加えアイホールに沿うようにもう1本ラインをひくことで、個人差のある目の大きさを調整し15メートル先にいる審判員から見て“5つ子”に見せるという、大事な役割を担います。目の大きさが2倍になり、より自然な立体感を演出できるようになりました。団体ならではのシンクロした美しさを表現します。

【この件に関するお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ 宣伝部 TEL 03-3494-7119 / FAX 03-3494-6198 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3

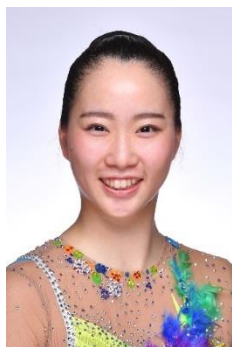
2017年新メイク団体選手

団体選手メイクのポイント

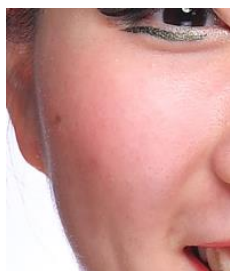
日本代表一丸となって強い気持ちで舞台に立てるよう、目尻をキュッとほね上げた1本の太い“キャットライン”で目もとを強調。今年は新しくグリーンのカラーアイラインを取り入れ、女性らしい眼差しもアップさせました。メンバーがまるで5つ子に見えるよう、個人差のある目もとはアイラインで調整。15メートル先にいる審判員にも美しくアピールします。



メイク前 杉本 早裕吏選手



フェイスカラー



オレンジのチークをほぼ全体に入れることで、健康的な女性の印象に仕上げています。



リップ



昨年のジャパニーズレッドよりも、やや明るい赤を使用。明るいライトを全面に浴びる大舞台に立つ選手の顔色をよりよく魅せ、白く美しい肌を引き立てます。

アイメイク



【フェアリーキャットライン】

「フェアリー ジャパン POLA」のメイクのトレードマークであるフェアリーラインをシャープなイメージのキャットラインに変更。目尻を少し跳ね上げたラインにすることで目もとを大きく強調しています。

【カラーライン】

最近の流行でもあるカラーラインを取り入れて、選手の気分もアップ。黒1色だけではなく2017年世界大会開催国であるイタリアらしい深いモスグリーンのカラーラインを下まぶたにも使用することで女性らしいしなやかさと深い眼差しを表現しました。

【ダブルアイライン】

目をアップさせるため、上まぶたにダブルアイラインを採用。個人差のある目もとを調整する役割も。

【アイカラー】

ブラウンを使用。カラーライナーを引き立たせるように表現しました。掘りを深く見せて立体感を出しています。

2017年新メイク個人選手

メイク前
皆川 夏穂 選手



フェイスカラー



ピンクベージュのチークを
ほぼ全体に入れることで、
ナチュラルな血色感に仕上
げています。

リップ



透明感のある白い肌を美しく魅せる、コーラルベージュのリップを唇全体に。
鮮やかな目もとをより際立たせ、主張しすぎない上品な大人っぽさを表現しました。

アイメイク



【アイカラー】

鮮やかに発色するブルーを採用。
。ダークカラーに細かいラメの
入ったネイビーを使用すること
で、きりりと締まった印象の目
もとに。皆川選手も、「使用す
ると気分が上がる、試合モード
になる」というブルーのアイカ
ラーは、自信をくれるアイテム
です。

【フェアリーキャットライン】

キャットラインは目尻をキュッ
とはね上げて描いたラインが特
徴です。目もとの印象を大きく
変えて、これまでとは違う小悪
魔な女性を表現しました。



FAIRY JAPAN

POLA

2017年新メイク個人選手

メイク前
早川 さくら 選手



フェイスカラー



骨格に沿って、ブラウンカラーをベースに仕込み、立体的でシャープな印象に仕上げました。ローズチークを重ねることで内からじみ出る女性らしさも表現しています。



アイメイク



【フェアリー キャットライン】

キャットラインで引き上げたアイラインは印象的な切れ長の目もとを作り出します。

【カラーライン】

目頭の下側にゴールドのラメラインをポイントで入れることで更に目力をアップ。

一度見たら目が離せなくなるような目もとを目指しました。

【アイカラー】

グレーのアイカラーで目尻に向けて濃くなるグラデーションにすることで、伏せた目も横顔も色っぽく演出しています。

リップ



リップは、団体選手と同じ明るいレッドを採用。艶のある大人の女性の魅力を演出します。

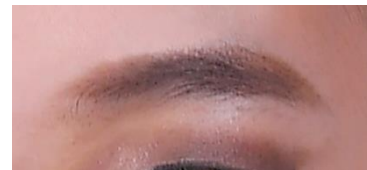
POLA

2017年新メイク個人選手

メイク前
喜田 純鈴 選手



アイブロー



眉は目もとのバランスをとり、太めに施し、アーチを描きました。目力を更にアップさせる効果があります。

フェイスカラー



ローズのチークをほぼ全体に入れることで、大人っぽく血色感のある印象に仕上げています。

アイメイク



【フェアリーキャットライン】

キャットラインで引き上げて、印象的でパワーの伝わる目もとを作り出します。

【アイカラー】

ブラウンのアイカラーで、目尻が濃くなるようにグラデーションを入れました。少し赤みのあるブラウンは女性らしい印象を与えます。

リップ



リップは、団体選手と同じ明るいレッドを採用。艶のある大人の女性の魅力を演出。情熱的な表情を引き立てます。

2017年新メイク 団体・個人選手 共通使用アイテム紹介

ベースメイク

ホワイティシモ リキッド ホワイト

6色 各30mL ¥4,500 (税込¥4,860)

[SPF20・PA++・ウォーターブルーフ・紫外線吸収剤フリー] 無香料

美白乳液のようにしっとり感触のリキッドファンデーション。
つややかでみずみずしい「絹糸美肌仕上がり」。
皮脂、汗に強く、美しい仕上がりを長時間キープします。



ホワイティシモ UVパクト ホワイト

13g ¥3,000 (税込¥3,240) <ケース別売 ¥800 (税込¥864) >

[SPF22・PA+++・ウォーターブルーフ]

化粧もちを良くするプレストパウダー。
ふわりと肌になじみ、時間が経つほど透明感が上昇。
化粧直しにも活躍します。



スキンケア

APEX

アベックスが28年間蓄積してきた、約1,680万件※1の肌データを
もとに、肌を細胞レベルから分析し、一人ひとりの肌に合った
スキンケアからベースメイクまでを提案する個肌対応※2ブランド。
スキンケアは256万通り、ベースメイクは3,600通りの中から
一人ひとりの肌にあった製品を提案します。



※1 2017年1月現在

※2 肌に合わせてセレクトするシステム



FAIRY JAPAN

POLA

美容コーチ

ビューティーサポート活動として、社内から選ばれた7名の美のエキスパートを美容コーチに任命。選手一人ひとりの顔立ちにあったメイクを指導するだけでなく、肌のチェックからスキンケアアドバイス、競技でくずれないヘアスタイルを細かく指導しています。



おぎの かずこ
萩野 和子



たなか このの
田中 琴乃



みずた ゆうこ
水田 悠子



やまだ ゆき
山田 有希



ます こうじ
榎 浩史



このの れいか
河野 伶佳



わかばやし ゆか
若林 優佳

新体操メイクの基本コンセプトは「崩れない、目力、立体感」

新体操のメイクでは、汗をかいても崩れないこと、選手全員の統一感、そして15m以上離れた審判員席や客席から見ても、インパクト・華やかさのあるメイクであることが必要となります。

そこで、「15m先から美しく見えること」を目標に「崩れない、目力、立体感」の3つを新体操メイクの基本コンセプトとして決めました。

この基本コンセプトをベースに、演技や衣装、音楽に合わせて、新しいメイクパターンを毎年開発しています。

「崩れない、目力、立体感」のポイント

■崩れないベース作りのポイント

崩れにくくするポイントは、リキッドファンデーションをしっかりとスポンジでたたき込むことです。軽いタッチで、何度も何度もたたき込むことで、ファンデーションがしっかりと肌に密着し、汗に強い仕上がりになります。夏の季節は汗や皮脂が多く、ベースが崩れやすいので、美しい肌を長時間保つためには、このようなひと手間がとても大切です。

■目力を出すポイント

目力を出すポイントはアイライナー。ブラックのアイライナーで目尻を少し跳ね上げたラインにすることで目元を大きく強調しています。カラーラインは下まぶた1/3に平行に入れる方法は、誰でも取り入れやすいのでオススメ。最後に上下のまつ毛にブラックのマスカラをたっぷりつけ、目力を更にアップさせます。

■立体感を出すポイント

目もとや口もとのメイクをする前に、ベースメイクの段階で立体感を出しておくのがポイントです。ハイライトを額や鼻筋、頬骨などの高い部分にのせて、明るく高く見えるようにします。そして、頬に、明るい色のチークをのせて血色を加えます。



フェアリー ジャパン POLA オフィシャルパートナー ポーラ活動資料

株式会社ポーラは、輝く女性の生き方を応援し、美しく豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指しています。

その企業活動の一環として、夢に向かって頑張る女性たちをサポートしていきたいという思いから、2007年8月より新体操ナショナル選抜団体チーム「フェアリー ジャパン POLA」オフィシャルパートナーとしてビューティーサポート活動を行っています。2014年8月からは、新体操への支援をさらに強化すべく、個人日本代表選手までサポート活動を広げました。

ポーラでは、ビューティーサポート活動として、社内から選ばれた7名の「フェアリー ジャパン POLA」専属の美容コーチたちが、3ヶ月に一度、選手一人ひとりの肌に向き合い、ポーラ独自の分析技術を用いて解析し、その結果に基づいて、256万通りの組み合わせを有するブランド「アベックス」から、今、まさに選手の肌に必要なスキンケアアイテムを提供しています。さらに過酷な環境下でも健やかな素肌を保てるように、きめ細やかなスキンケアアドバイスも行っています。

また、メイクは選手の表情を美しく豊かにし、自信を持って演技に取り組める重要な要素と捉え、毎年、世界選手権大会に向けてその年の演技のテーマや曲調に合わせたメイクプランを考案。選手が自分自身でメイクを施せるようになるために、メイクレクチャー会も開催し、一人ひとりの顔立ちに合ったメイクをマンツーマンで指導しています。

さらに、各地の新体操イベントや新体操スクールへ訪問し、子どもたちや保護者の方々にフェアリーメイクをレクチャー。メイクを通じて、新体操の新たな楽しさを広げる活動も行っています。

ポーラが長年培ってきた美容の知識とスキンケアやメイクの技術、そして一人ひとりに向き合ったパーソナルなサービス、これらポーラならではの強みを活かしたサポートで、芸術性が求められる新体操選手たちに寄り添い、貢献し、彼女たちが世界の舞台で美しく輝けるよう、これからもポーラは、応援し続けてまいります。

ビューティーサポート活動風景



スキンチェック (肌分析)

定期的に肌の状態を分析して、カウンセリングを行い、一人ひとりの肌に合わせたスキンケア製品を提供しています。

メイク講習会

選手が自身でメイクを完成できるよう、選手それぞれの顔立ちに合わせたメイク方法を細かく指導します。



選手専用メイク品(非売品)開発

使用する音楽や衣装、会場や選手の雰囲気に合わせてメイク品を開発。研究員と何度もミーティングを重ね色味を調整しました。

子どもたちへのメイクレクチャー会

選手が実際に使用しているメイクアイテムを使って体験。保護者の方々からは熱心な質問もいただきます。